

## 組合ニュース

本会会員組合の活動等についてご紹介いたします

### 組合創立60周年記念式典を開催しました(山形県電機商業組合)



山形県電機商業組合(峯田季志理事長)は、1月18日(火)パレスグランデール(山形市)において、創立60周年記念式典を開催しました。

当組合は県内全域を地区とする家電販売店で組織する組合で、組合員は現在215社。主な事業として、組合員が取り扱う商品の共同購入や、組合員が販売した商品の長期保証事業を行っています。

式典には、大山敏之山形県産業労働部次長をはじめ多くのご来賓と、関係団体や組合員など約100名が出席しました。峯田理事長は「創立60周年を迎え、一つの大きな転換期として改めて組織増強、活性化に取り組んでいく。新しい生活様式に対応することが求められている今こそ、意識改革を推進する好機である。先輩方が築いた歴史を大切に、団結力の強さを発揮し、元気のある組合づくり、後継者が育つ業界にしっかりと取り組んでいく。」と挨拶し、次の10年、そして創立100年へ向けて決意を新たにしました。また、組合功労者への表彰が行われ、組合員23名に表彰状・感謝状が授与されました。

### 山形市再生資源協同組合が 新たな資源回収管理システムを開発・導入しました

山形市再生資源協同組合(三沢大介理事長)は、全国中小企業団体中央会が実施する、組合等情報ネットワークシステム等開発事業に応募して採択され、資源回収管理システムを開発・導入しました。

山形市の資源回収は、各地域や子供会などの実施団体からの回収依頼を受け、組合事務局と組合員が相互連携しながら回収作業を行い、市に報告することになっていますが、これまでは手書き伝票の管理やExcelへのデータ入力、実施団体からの問い合わせ対応や回収実績の集計報告作業を事務局担当組合員が担ってきました。

この一連の流れでは、事務局を担う組合員に非常に大きな負担となっていました。新システムを開発・導入により、データの一元管理を進めることで、組合員が登録した伝票データを事務局がそのまま利用できるようになり、膨大な伝票のExcel入力作業の廃止や各種問い合わせ、報告作業の削減が可能になりました。今後もシステムを稼働させながら、より使いやすいようにアップデートを進め、更なる事業の発展を推進していくとのことです。

なお、組合等情報ネットワークシステム等開発事業については、同封リーフレットをご覧ください。